

研究構想シート		学校名	江津市立渡津小学校
		氏名	土井祥乃
A 研究主題		情報を集めて整理し、自分の考えを豊かに表現する子どもの育成～情報活用能力の育成を目指す授業づくり～	
B 研究の目的		情報を集めて整理し、自分の考えを豊かに表現する子どもを育成するための学習内容や手立てを明らかにする。	
C 子どもの実態 ○全体の場で自分の考えを発表することが苦手な児童がいる。（全体の場で発言する児童が固定化されている。） ○ペアやグループでの学習では友達と声をかけ合いながら取り組むことができる。 ○様々な情報から必要な情報を選んだり、情報をもとに自分の考えをまとめたりすることが苦手。 ○自分の考えを持つことに自信がもてない。 ○自分の考えを説明することが苦手。（書くこと・話すこと） ○相手の意見を尊重し、友達の意見から学ぶことが難しい。 ○学力や理解力の差が大きい。	E 手立て・内容（研究仮説） ○タブレットや図書館などを活用して調べる活動を行う。 ○情報を集めたり、整理したりする際、タブレット、情報カード、ワークシートなど様々なものを活用する。 ○相手意識をもった学習場面を設定する。（表現する場の設定や工夫） ○多様な表現方法を体験させる。（話す・書く）		D めざす子どもの姿 ○様々な情報の中から、必要な情報を選び、整理する子ども ○整理した情報をもとに自分の考えをもつことができる子ども ○自分の考えをもち、自信をもって表現する子ども ○自分の考えを分かりやすく表現する子ども ○友達の考えを自分の考えと比べながら聞く子ども
	F 検証方法 ○評価基準を設定し、評価する。 ○児童の様子や発言、タブレットやノート、ワークシートなどの記述をもとに、子どもの考えや変容を見取る。 ○県学力調査や学校評価のアンケートを活用する。		
	G 研究計画 ○子どもの実態（強み、弱み）、手立て、めざす子どもの姿を考える。 ○1学期校内研修（ICTを活用した授業プランを考える。） ○夏季休業中 授業構想・指導案作成 ○2学期授業研究 ○2学期校内研修（授業実践考察） ○研究の振り返り、来年度の研究について		